

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	浄水場等更新事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	水道工務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	矢幡 哲夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	給水を受ける市民	意図	施設の浄水機能及び配水能力を適切な状態に保持する。
事業内容	・既設浄水場の浄水施設、配水施設の更新の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	・既設浄水場は、供用開始後30年以上が経過し、施設の老朽化による機能不全が生じていたことから、計画的に施設の更新を行う。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	浄水場改良率	92.80	100	100	%
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	浄水施設（井戸）の清掃業務を実施	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・流山1号井、及び江戸川台3号井の井戸清掃業務を実施した。
--------------------	------------------	--

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	352,411,000	542,045,680	18,850,400
事業費(b)(円)	341,323,200	533,304,000	13,392,000
うち一般財源	341,323,200	533,304,000	13,392,000
職員給与費(c)(円)	11,087,800	8,741,680	5,458,400
人役・職員(人)	1.56	1.04	0.77
人役・再任用(人)	0.16	0.74	0.16
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・既設の浄水施設を適切な状態に保持するため、井戸の清掃業務を行う。	③取組における課題(Check)	・市内4浄水場の更新事業が完了したことから、今後は適切な維持管理計画を進める必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	・流山1号井、及び江戸川台3号井の井戸清掃業務を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・将来の水需要予測との整合を図りながら、維持管理計画を進める。